

6 月 10 日：金融・銀行セクターが相場を牽引

金融・銀行セクターが相場を牽引し水曜日の午後には三か月ぶりの高値に達した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.06% 高の 900 ポイントで取引を終えた。

同指数は火曜日には 0.05% 安となっていた。

出来高は 5 億 4280 万株で売買代金にして 7.13 兆ドンであった。相対取引が 6.37 兆ドンを占めた。

午前中には売られる場面もあったが、下落した銘柄を中心として買いが集まり 900 ポイントまで上昇することになった。

VN30 指数は 0.25% 高となり、中小型指数もそれぞれ 1.58%、1.03% 高となった。

金融・銀行セクターが大きく上昇し VN 指数を 900 ポイントにとどまらせた。

銀行・保険セクターの指数は 0.3-1.1% 上昇した。

ベティンバンク (CTG)、テクコムバンク (CTB)、軍隊商業銀行 (MBB)、TP バンク (TPB)、バオベトホールディングス (BVH)、SSI 証券 (SSI)、ベトキャピタル証券 (VCI) などが主な上昇銘柄だった。

小売、農業、建設資材、ホテル観光なども上昇した。

一方、IT、ヘルスケア医薬品、飲食料品、水産加工などは値下がりした。

外国人投資家は 1872 億ドンの買い越し。火曜日には 3000 億ドンを売り越していた。

午前中には下落していたが、市場は前日と同じ値段付近で安定していたため、投資家は売った株を買い戻すのに十分なほどの相場環境だった。

水曜日にも流動性が高く、投資家は依然として調整があれば買いに動く意思があるということを確認していたとサイゴンハノイ証券は語った。

市場心理は改善しているが、さらなる上昇が難しいと同社は予想した。

VN 指数は 910 ポイントを試す可能性もあるが、880 ポイントまでの下落もあるだろうと予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.46% 高の 120.68 ポイントで取引を終えた。

同指数は直近 6 営業日で 6.20% ほどの上昇を記録している。

出来高は 7500 万株で売買代金にして 7790 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。